

社団法人 東京電機大学校友会

第119回 評議員会 第64回 総 会

日 時 平成21年5月23日(土) 13時00分～14時50分

場 所 東京電機大学 神田キャンパス7号館1階丹羽ホール

議 案

評議員会 総 会	共通	第1号議案	平成20年度事業報告案承認の件
		第2号議案	平成20年度決算案承認の件並びに監査報告
		第3号議案	平成21年度事業計画案承認の件
		第4号議案	平成21年度予算案承認の件
		第5号議案	平成21・22年度評議員選出の件
評議員会		第6号議案	理事・監事選出の件

— ※ —

講演会

時 間 15時00分～16時30分
場 所 東京電機大学 神田キャンパス7号館1階丹羽ホール
講 師 文部科学省参与・(独)日本原子力研究開発機構シニアアドバイザー
町 末男 殿 (工学博士)
演 題 「低炭素社会の実現に向けて—原子力エネルギーの役割—」

懇親会 (立食パーティー)

時 間 16時45分～18時15分
場 所 東京電機大学 神田キャンパス11号館17階カシオホール
会 費 無 料

(講師プロフィール)

町 末男 (まち すえお)
1963年 日本原子力研究所 (現・日本原子力研究開発機構) 入社
1967年 京都大学工学博士
1980-83年 IAEA 工業利用・化学課長
1983-86年 日本原子力研究所 企画室次長
1986-88年 日本原子力研究所 高崎研究所 研究部長
1988-91年 日本原子力研究所 高崎研究所 所長兼開発部長
1991-2000年 IAEA 事務次長
2000-03年 日本原子力産業会議常務理事
2004-07年 原子力委員会委員
2007-現在 文部科学省参与・(独)日本原子力研究開発機構シニアアドバイザー
2000-現在 FNCA <アジア原子力協力フォーラム> 日本コーディネーター
2000年 紫綬褒章
2008年 瑞宝中綬章

平成20年度事業報告(案)

1. 校友会員に対するサービスの充実

これまでの各種サービスを見直し、会員にとって魅力あるサービスの展開を検討し実現を目指した。

また、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図ることに努めた。

(1) メールアドレス提供の更なる検討

「生涯使用できるメールアドレスの提供」は、サーバーの維持等に多額の費用を要することから、他の方法を模索していたところ、既存プロバイダーを活用したメールシステムの存在が判明した。そこで、「卒業生バックアップセンター」に含まれる同窓会コミュニティ支援との整合性を図りながら、「メールアドレスの提供」の実現に向けて更に検討していくこととした。

(2) 転職希望者への情報提供サイトの活用推進

転職希望者への情報提供サイト「卒業生バックアップセンター」を平成20年3月中旬に一部オープンした。このサイトにはコミュニティ支援の機能が充実されており、同級生検索機能・同級生へのメッセージ機能(E-mail利用)・掲示板機能等がある。

会員登録卒業生は3月末日現在2,806名、求人協力登録企業は1,227社である。

(3) 会員への斡旋事業

例年同様、会員に対して次の各種斡旋事業を行った。

- ①学園図書館の利用斡旋
- ②学術図書雑誌の購入斡旋
- ③法律、特許相談の斡旋
- ④校友会協定施設の利用斡旋および補助
- ⑤校友会員限定の特別割引物品の斡旋

(4) ホームページからの加入促進

校友会への加入手続きをインターネットで可能とし、加入促進を図った。

- ①校友会ホームページから、即時、カード決裁にて校友会に入会。
- ②「認証(本人確認)」の仕組みを持つ「卒業生バックアップセンター」のホームページからの

入会。

今後、コンビニ決裁についても継続的に検討する。

(5) 校友会への加入案内の追加送付

この事業を定常業務と位置付け12月に特定卒業年度の会費切れの卒業生(約20,000人)を対象に加入案内を追加して送付した結果、3月末日現在の会員数は30,087人である。

2. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として以下の事業を行った。

(1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えから、県支部、地方支部総会に校友会の役員が出席し、校友会活動および学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図った。

全国の地方および県支部総会は27箇所(別表-1)において開催された。

(2) 同窓会活動への支援

例年同様、大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対して、総会への協力はもとより、日頃から、積極的に支援と協力を行なった。

(3) 職域電機会の活性化と新規設立の勧誘

職域電機会の活性化を目的として事務補助費の導入を継続検討しているが、本年度は22の職域電機会(別表-2)の総会が開催され、その開催時への祝金を昨年度から増額した。

なお、新規設立の勧誘を試みたが、本年度における職域電機会新規設立は1企業に留まった。

(4) 留学生OBとの連携

学生支援センター(学生厚生担当)の協力のもと、本学園の留学生で日本に居住している卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を開催し、各国の在學生、OBとの交流・親睦を図った。

(5) 校友会組織の基盤に関する検討

組織管理委員会では、県支部を統括する組織体(ブロック化)を設置することについて協議してきたが、短絡的に県支部を統括する組織体(ブロック化)を設置するのではなく、その前段として、

県支部の活動状況等について横断的に意見交換できる会議体として「県支部連絡協議会（仮称）」の設置について全国支部長会に事前調査としてアンケートを実施した。

その結果、29支部（69.0%）が会議体を情報交換の場として有効とのことで、今後、その趣旨等を明確にし、実施可能なところから会議体の設置を進めることとした。

3. 準会員への支援

例年に準じた支援については予定通り実施できた。

また、鳥人間コンテストをはじめとするメディアへの登場を重点的に支援することを目的とした「イベント協賛」を実施した。

なお、準会員への支援事業は次のとおりであった。

①クラブ活動補助

学生・生徒の課外活動を支援することから補助を行った。

②全学行事補助

大学に対しては、合同体育祭、各キャンパス学園祭、リーダーズキャンプ等に補助を行なった。中学・高等学校に対しては、体育祭、文化祭、文化講演会等に補助を行なった。

③卒業式・入学式記念品補助

卒業記念品として、大学には卒業証書挟および修了証紙筒を、中学・高等学校には学業優秀賞および皆勤賞の副賞を贈呈した。また、入学式記念品として、学園の全新入学生・生徒に校歌CDを贈呈した。

④卒論発表会・就職セミナー等支援

⑤準会員向け工学情報（KJ）発行

就職を希望する学生が持参して、2月に開催された就職セミナー（大学と大学同窓会との共催）に臨める様に、就職特集号の「工学情報（KJ）」を12月に発行した。

⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付

7名の希望者に奨学金（総額4,592千円）を貸与した。

4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に会

員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。そのためには、社会全般に対する公益事業を積極的に実施することが望まれ、本年度については次の講演会・見学会等の開催・共催を実施した。

（1）公開講演会関係

学園主催による創立100周年記念公開講演会（高崎・福岡）の共催を含め、県支部主催による公開講演会が都合16箇所（別表-3）で開催され、多くの一般参加者を含む講演会であった。

（2）見学会関係

校友会、商工懇話会、電機学校同窓会主催の見学会を含め、県支部主催による見学会が都合6箇所（別表-4）で開催された。

（3）協賛した事業（4件）

- ・ME講座 全10回開催（学園：産官学交流センター主催）
- ・ロボット工作教室 年11回開催（高等学校主催）
- ・修士論文発表会（工学研究科・情報環境学研究科主催）
- ・未来科学部開設記念公開講演会「デジタル時代の大学教育」（未来科学部主催）

5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。校友会創立100周年記念事業の実施に当たり各委員会を設置し検討を開始した。

（1）校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）の計画を推進した。

記念事業の内容は、①記念式典の挙行、②記念祝賀会の挙行、③記念誌（年史）およびリクルート情報誌ならびに工学情報創立100周年特集号の発行、等を想定し、記念式典・祝賀会の開催期日を平成21年10月17日（土）とし、会場を「ホテルグランドパレス」としてその準備を鋭意進めている。

（2）昨年度に引き続き、記念事業に備えて準備金の積立（2,000千円）を実施した。積立の総額は、平成20年度末で12,000千円となった。

（3）生涯使用できる転送メールアドレス提供について継続して検討している。

- (4) 転職希望者への情報提供サイトに留まらず、卒業生相互のコミュニティにも活用できる「卒業生バックアップセンター」の卒業生への積極的な広報と共に、平成20年度卒業生から全員登録に着手した。
- (5) 平成21年度秋号から工学情報をA4判化することへの具体的検討を開始した。
- (6) 公益法人制度改革に伴う移行に関する理事・監事を対象としたセミナー(勉強会)を開催し、共通認識を持って方向性を検討することとした。

6. 学園創立100周年記念事業への協力

- (1) 卒業生向けの募金活動を校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機協会会長会等を通じ、積極的に協力要請を行った。
- なお、卒業生の寄付総額は3月末日で245,740千円(目標の70.2%)となった。
- (2) 学園創立100周年公開講演会(継続)への共催
昨年に引き続き、学園主催による学園創立100

周年公開講演会が高崎と福岡の2会場で開催され、校友会はそれに協力した。

7. 学園との連携強化

(1) 学生募集の支援

校友会としては、学園が学部・学科を再編成し教育研究の特色化、個性化をはかり、新しい時代の社会的要請に応えようと努めていることを踏まえて、学園との連携を図り、特に、教職校友会の協力を得て、推薦入試等で学生募集を支援した。

(2) 経営同友会の運営への協力

経営同友会は学園と産業界で活躍されている校友の方々との間にネットワークを構築し、会員企業ならびに学園および校友の発展を目指すことを目的に設立された組織である。

校友会では、学園と校友との連携の重要性を鑑みて、経営同友会の企画・運営するイベントに協力した。

以上

別表-1：支部総会の開催状況

日付	支部名	日付	支部名	日付	支部名
4月20日	富山県支部	8月23日	新潟電機会	11月9日	福岡県支部
5月31日	埼玉県支部	10月5日	宮城県支部	11月15日	香川県支部
5月31日	山形県支部	10月12日	群馬県支部	11月15日	長崎県支部
6月7日	神奈川県支部	10月18日	佐賀県支部	11月22日	長野県支部・山梨県支部
6月7日	三重県支部	10月25日	沖縄県支部	11月22日	鹿児島県支部
6月14日	千葉県支部	11月1日	岩手県支部	12月6日	山陰支部
6月15日	岐阜県支部	11月2日	福島県支部	12月13日	宮崎県支部
7月12日	茨城県支部	11月8日	新潟県中央電機会	1月24日	愛媛県支部
8月2日	青森県支部	11月8日	愛知県支部	3月14日	山陽支部

別表-2：電機協会総会の開催状況

日付	電機協会名	日付	電機協会名	日付	電機協会名
4月19日	商工懇話会春季総会	6月28日	東管支部	11月28日	川北電気工業電機会
5月23日	東光電気工事電機会	7月7日	東管支部東京南電機会	12月4日	東管支部東京南電機会
6月4日	東管神奈川電機会	7月12日	教職校友会神奈川支部	12月18日	東洋熱工業電機会
6月5日	関電工電機会	9月12日	大成建設電機会	12月27日	東管支部千葉電機会
6月20日	日本電波工業電機会	10月3日	商工懇話会秋季総会	1月17日	電磁電機会
6月21日	教職校友会東京支部	11月20日	民間放送校友会	3月7日	三菱電機会
6月21日	教職校友会埼玉支部	11月23日	錦央電機会		
6月21日	教職校友会	11月26日	東管支部東京北電機会		

別表-3：公開講演会の開催状況

日付	演題	講師	主催
4月20日	「住まいのクリニックセミナー」地震に自信を。	今川憲英教授	富山県支部
5月24日	「インターネットの発展と大学の関わり」	脇英世教授	校友会
5月31日	再生医療による超長寿社会の可能性	小谷誠教授	埼玉県支部
5月31日	地球温暖化と省エネルギー	安西和夫氏	山形県支部
6月7日	継続は力！	須田毅氏	神奈川県支部
6月14日	社会で活躍できる脳細胞を育てよう	小谷誠教授	千葉県支部
6月15日	“雷はへそをめがけてやってくる”	澤栗裕二氏	岐阜県支部
7月12日	「新しい医療を支える医療機器のはなしー工学技術の医療への挑戦ー」	舟久保昭夫教授	神奈川県支部
7月12日	制御工学の歴史と発展	古田勝久教授	茨城県支部
10月5日	「地震被害想定に含まれない地震災害について」	安田進教授	埼玉県支部
10月5日	自動車と電子情報ー先進の環境仕様と安全性能に応用	星野洋教授	宮城県支部
10月12日	フォーミュラ SAE プロジェクトの紹介	小平和仙助手	学園主催・校友会共催
11月1日	石川啄木&宮沢賢治の今日的意義	照井卿史氏	岩手県支部
11月2日	世の中の IT 活用状況について	鈴木義伯氏	福島県支部
11月9日	もうひとつの GPSー規格と標準について	大園成夫教授	学園主催・校友会共催
11月22日	エコエネルギー発電を支えるパワーエレクトロニクス技術	飯田祥二教授	長野県支部・山梨県支部

別表-4：見学会の開催状況

日付	場所	参加者	主催
9月26日	海上自衛隊潜水医学実験見学研修会	35名	校友会
10月19日	ベリー記念館・京急油壺マリパーク	68名	電機学校同窓会
11月25日	横浜市資源環境局 金沢工場及び金沢資源選別センター	35名	神奈川県支部
2月27日	シャープハイテクノロジーホール幕張	34名	千葉県支部
3月29日	家族ぐるみ見学会ー称名寺・金沢文庫・横浜八景島シーパラダイスー	90名	商工懇話会
3月30日	鉄道博物館見学研修会	40名	東管支部

平成20年度決算承認の件並びに監査報告

平成20年度収支計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

一般会計

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 会 費 収 入	77,000,000	75,820,000	1,180,000
通常会員会費収入	14,000,000	12,820,000	1,180,000
予納会員会費収入	63,000,000	63,000,000	0
2. 運 用 財 産 収 入	10,400,000	10,702,458	△302,458
受取利息配当金収入	400,000	702,458	△302,458
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
3. 寄 付 金 収 入	4,650,000	4,982,650	△332,650
広告寄付金収入	4,000,000	4,371,000	△371,000
その他寄付金収入	650,000	611,650	38,350
4. 雑 収 入	510,000	102,300	407,700
見学・講演会収入	500,000	93,000	407,000
その他収入	10,000	9,300	700
当期収入合計	92,560,000	91,607,408	952,592
前期繰越収支差額	32,451,972	32,451,972	0
収入合計	125,011,972	124,059,380	952,592

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事 業 費	67,105,000	62,192,751	4,912,249
会 報 発 行 費	28,460,000	29,126,715	△ 666,715
名 簿 管 理 費	5,685,000	3,906,645	1,778,355
Web情報発信サービス	2,680,000	1,149,540	1,530,460
支 部 援 助 費	15,500,000	14,172,981	1,327,019
そ の 他 事 業 費	3,500,000	1,644,870	1,855,130
同 窓 会 援 助 費	11,280,000	12,192,000	△ 912,000
2. 管 理 費	30,568,000	26,166,931	4,401,069
給 与 手 当	6,400,000	6,611,020	△ 211,020
委 託 費	9,500,000	8,343,416	1,156,584
慶 弔 費	400,000	257,250	142,750
旅 費 交 通 費	150,000	78,310	71,690
会 議 費	6,330,000	4,297,768	2,032,232
通 信 運 搬 費	3,000,000	2,664,744	335,256
印 刷 製 本 費	200,000	180,705	19,295
賃 借 料	1,488,000	1,035,471	452,529
消 耗 品 費	2,300,000	1,930,339	369,661
雑 費	800,000	767,908	32,092
3. 特定資産繰入支出	2,000,000	2,075,705	△ 75,705
校友会100周年積立支出	2,000,000	2,000,000	0
事業積立特定資産繰入支出	0	75,705	△ 75,705
4. 予 備 費	2,000,000	0	2,000,000
当期支出合計	101,673,000	90,435,387	11,237,613
当期収支差額	△9,113,000	1,172,021	△10,285,021
次期繰越収支差額	23,338,972	33,623,993	△10,285,021

学校預託金の内訳

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

	期首残高	増 加	減 少	期末残高
準会員学校預託金	126,138,400	67,368,000	66,024,000	127,482,400
正会員学校預託金	490,616,656	60,024,000	63,000,000	487,640,656

(第2号議案関連)

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

一般会計 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,729,640		
立替金	138,600		
未収入金	110,000		
流動資産合計		34,978,240	
2. 固定資産			
基本財産			
金銭信託預金	2,000,000		
基本財産合計	2,000,000		
その他の固定資産			
器具備品	4,914,368		
器具備品減価償却累計額	△4,580,729		
準会員学校預託金	127,482,400		
正会員学校預託金	487,640,656		
事業積立特定資産	42,069,705		
通常会員会費特定資産	32,200,000		
校友会100周年積立金	12,000,000		
有価証券	2,430,830		
その他の固定資産合計	704,157,230		
固定資産合計		706,157,230	
資産合計			741,135,470
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,324,247		
源泉預り金	30,000		
流動負債合計		1,354,247	
2. 固定負債			
準会員前受金	127,482,400		
正会員前受金	487,640,656		
固定負債合計		615,123,056	
負債合計			616,477,303
III. 正味財産の部			
正味財産			124,658,167
(うち基本金)			(2,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			(3,128,885)
負債及び正味財産合計			741,135,470

(第2号議案関連)

正味財産増減計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

一般会計

増加原因の部	
科目	金額
会費収入	75,820,000
通常会員会費収入	12,820,000
予納会員会費収入	63,000,000
運用財産収入	10,702,458
受取利息配当金収入	702,458
預託金運用収入	10,000,000
寄付金収入	4,982,650
広告寄付金収入	4,371,000
その他寄付金収入	611,650
雑収入	102,300
見学・講演会収入	93,000
その他収入	9,300
増加原因の部合計	91,607,408

減少原因の部	
科目	金額
事業費	62,192,751
会報発行費	29,126,715
名簿管理費	3,906,645
支部援助費	14,172,981
その他事業費	1,644,870
同窓会援助費	12,192,000
Web情報発信サービス	1,149,540
管理費	26,166,931
給与手当	6,611,020
委託費	8,343,416
慶弔費	257,250
旅費交通費	78,310
会議費	4,297,768
通信運搬費	2,664,744
印刷製本費	180,705
賃借料	1,035,471
消耗品費	1,930,339
雑費	767,908
減価償却額	118,841
減少原因の部合計	88,478,523
当期正味財産増加額	3,128,885
前期繰越正味財産額	121,529,282
期末正味財産合計額	124,658,167

財産目録

(平成21年3月31日現在)

一般会計

(単位：円)

資産の部	
科目	金額
I 基本財産	2,000,000
住友信託銀行貸付信託	2,000,000
II 運用財産	739,135,470
1. 流動資産	34,978,240
(1)現金預金	34,729,640
(2)立替金	138,600
(3)未収入金	110,000
2. 固定資産	704,157,230
(1)学校預託金	615,123,056
準会員学校預託金	127,482,400
正会員学校預託金	487,640,656
(2)事業積立特定資産	42,069,705
(3)通常会員会費特定資産	32,200,000
(4)校友会100周年積立金	12,000,000
(5)器具備品	333,639
(6)有価証券	2,430,830
資産合計	741,135,470

負債の部	
科目	金額
I 流動負債	1,354,247
(1)未払費用	1,324,247
(2)源泉預り金	30,000
II 固定負債	615,123,056
(1)学校預託金	615,123,056
準会員前受金	127,482,400
正会員前受金	487,640,656
負債合計	616,477,303
正味財産	124,658,167
負債正味財産合計	741,135,470

監査結果

平成20年度予算執行状況、財産の保全と運用状況、会計処理状況を経理帳簿、証憑、銀行帳簿、有価証券等により実査した結果、平成20年度予算は、適正かつ正確に運用されていることを確認しました。

平成21年4月17日

監事 峯澤意卓 ㊟
阿久津功 ㊟
窪田輝巳 ㊟

(第2号議案関連)

平成20年度収支計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

準会員事業基金特別会計

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 運用財産収入	11,000,000	11,043,172	△43,172
2. 奨学金返済収入	4,000,000	3,575,314	424,686
3. 預託金繰入収入	6,000,000	6,000,000	0
当期収入合計	21,000,000	20,618,486	381,514
前期繰越収支差額	19,698,569	19,698,569	0
収入合計	40,698,569	40,317,055	381,514

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事業費	15,800,000	12,308,743	3,491,257
クラブ活動補助費	4,350,000	3,799,192	550,808
全学行事補助費	4,350,000	3,492,199	857,801
卒入学記念品費	2,800,000	2,730,742	69,258
卒論発表会・就職セミナー	300,000	75,000	225,000
工学情報分担金	2,000,000	1,511,610	488,390
イベント協賛援助金	2,000,000	700,000	1,300,000
2. 管理費	100,000	51,504	48,496
雑費	100,000	51,504	48,496
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	4,592,000	908,000
4. 特定資産繰入支出	10,100,000	10,093,268	6,732
5. 予備費	1,400,000	0	1,400,000
当期支出合計	32,900,000	27,045,515	5,854,485
当期収支差額	△11,900,000	△6,427,029	△5,472,971
次期繰越収支差額	7,798,569	13,271,540	△5,472,971

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

準会員事業基金特別会計

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	14,305,406
流動資産合計	14,305,406
2. 固定資産	
その他の固定資産	
奨学貸付金	21,451,218
準会員事業基金	94,785,522
その他の固定資産合計	116,236,740
固定資産合計	116,236,740
資産合計	130,542,146
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払費用	1,033,866
流動負債合計	1,033,866
2. 固定負債	0
負債合計	1,033,866
III. 正味財産の部	
正味財産	129,508,280
(うち当期正味財産増加額)	(4,682,925)
負債及び正味財産合計	130,542,146

正味財産増減計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

準会員事業基金特別会計

(単位：円)

科 目	金 額
I. 増加原因の部	
運用財産収入	11,043,172
基金利息収入	1,043,172
預託金運用収入	10,000,000
預託金繰入収入	6,000,000
増加原因の部合計	17,043,172
II. 減少原因の部	
事業費	12,308,743
クラブ活動補助費	3,799,192
全学行事補助費	3,492,199
卒入学記念品費	2,730,742
卒論発表会・就職セミナー	75,000
工学情報分担金	1,511,610
イベント協賛援助費	700,000
管理費	51,504
雑費	51,504
減少原因の部合計	12,360,247
当期正味財産増加額	4,682,925
前期繰越正味財産額	124,825,355
期末正味財産合計額	129,508,280

(第2号議案関連)

財産目録

(平成21年3月31日現在)

準会員事業基金特別会計

(単位:円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
I 運用財産	
1. 流動資産	14,305,406
(1)現金預金	14,305,406
2. その他の固定資産	116,236,740
(1)奨学金貸付 62名	21,451,218
(2)準会員事業基金	94,785,522
資 産 合 計	130,542,146

負 債 の 部	
科 目	金 額
I 流動負債	
未払費用	1,033,866
正 味 財 産	129,508,280
負 債 正 味 財 産 合 計	130,542,146

監査結果

平成20年度予算執行状況、財産の保全と運用状況、会計処理状況を経理帳簿、証憑、銀行帳簿、有価証券等により実査した結果、平成20年度予算は、適正かつ正確に運用されていることを確認しました。

平成21年4月17日

監事 峯 澤 意 卓 ㊟
阿久津 功 ㊟
窪 田 輝 巳 ㊟

(評議員会・総会共通 第3号議案)

平成21年度事業計画(案)

学園は、長年の懸案であった神田キャンパス再整備計画を発展的に解決する方策として、足立区北千住への新キャンパス創設(「新東京キャンパス(仮称)」)を決定した。この新東京キャンパス(仮称)創設事業は、学園の施設設備等のハード面の強化を実現するのみではなく、学園の理念や新たな東京電機大学の教育・研究を柱とするランドデザインを具現化する、学園の中長期計画における中核事業となる。

社団法人東京電機大学校友会(以下「校友会」という。)は学園に対する最大の支援組織として、学園創立100周年宣言の「東京電機大学人の基本姿勢」を尊重し、学園の活動の礎(指針)を最大限支援するものとする。

とりわけ平成21年度は、電機学校同窓会を起源とする校友会が創立100周年を迎え、学園と共に新たな100年への船出と位置付け、国の公益法人制度改革に伴う新法人への移行を睨み、今後における確固たる校友会を構築することを目的として、本事業計画を策定する。

1. 校友会員に対するサービスの充実

校友会員に対する各種サービスをこれまで以上

に検証し、会員にとって時代に即した更なる魅力あるサービスが展開できるよう鋭意検討し実現を目指す。

なお、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の増強について、引き続き会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図る。

(1) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の継続的検討

「生涯使用できる転送専用メールアドレスの提供」は技術的には可能であることが判明しているが、校友会独自で運用する場合、サーバーの維持等多額の費用を要することから、「卒業生バックアップセンター(就転職支援+同窓会コミュニティ支援)」(後述)の「校友との連絡を取りやすくする(E-mail利用)機能」と「転送専用メールアドレス」の整合性を整理したうえで、転送メールアドレスを独立したシステムとして構築するかどうかを含め、検討を継続する。

(2) 卒業生バックアップセンターへの卒業生登録の推進

転職希望者への情報提供サイトの設置を端緒とした「卒業生バックアップセンター」は、就転職支援機能のみならず卒業生相互のコミュニティ機能を有している。この機能を積極的に活用することにより校友会員の拡大に繋がることが期待できる。

積極的な広報を行い、卒業生の登録増加の推進に傾注したい。

(3) 会員への斡旋事業

例年同様、次の斡旋事業を展開する。

- ①学園図書館の利用斡旋
- ②学術図書雑誌の購入斡旋
- ③法律、特許相談の斡旋
- ④校友会協定施設の利用斡旋および補助
- ⑤校友会会員限定の特別割引物品の斡旋

なお、会員が出張等で上京の折、神田周辺で廉価で手軽に利用できるホテルを斡旋するようなシステム構築の事業展開を検討したい。

(4) ホームページからの加入促進の積極的広報の実施

校友会ならびに卒業生バックアップセンターのホームページから、即時、カード決済にて校友会費を納入し、校友会に入会ならびに継続できることが可能となった。

これを積極的に広報し、会員拡張に繋げたい。

併せて、ホームページから支払い用紙を自身で出力し、コンビニで校友会費を支払うことができるシステムについても継続的に検討する。

2. 校友会活動の活性化

校友会会員向けの活動として、例年同様次の事業を行う。

(1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えから、県支部、地方支部総会に校友会の役員が出席し、校友会活動および学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り支部活動を支援する。

なお、校友会創立100周年記念事業(記念式典・祝賀会)の実施に当たり、各支部からの積極的な参加に期待するところである。このため、支部からの参加促進を目的として、片道交通費3名分を事務経費に上乘せする。

また、東京都支部設立については、改めて検討に着手し始めたところである。

(2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し、例年同様に、支援ならびに協力をする。

とりわけ、電機学校同窓会創立100周年記念特別定期総会ならびに高等学校創立70周年記念事業に対して積極的に支援を行う。

(3) 職域電機会の活性化と新規設立の誘導

職域電機会の設立について、機会ある度に企業に対して要請を行っているがなかなか実を結ばない現状がある。しかしながら、職域電機会への積極的な活動を支援することは、県支部との緊密な連携および会員相互の親睦を深めることにも繋がると理解し不断の努力を続ける。

(4) 留学生 OB との連携

昨年度に引き続き、これを通じて、留学生が校友会に対する関心と理解を深めると同時に、海外支部の拠点作りの準備と学園への帰属意識の高揚を図りたい。

(5) 県支部連絡協議会(仮称)の設置に向けての推進

組織管理委員会では、県支部を統括する組織体(ブロック化)を設置することについて協議してきたところであるが、いっきに県支部を統括する組織体(ブロック化)を設置するのではなく、その前段として、県支部の活動状況等について横断的に意見交換できる会議体として「県支部連絡協議会(仮称)」の設置を目指す。

3. 準会員への支援

校友会では、例年、準会員である学園の学生・生徒に対して数多くの支援を行っており、今後もその体制は継続していく所存である。

とりわけ、平成21年度は鳥人間コンテストが実施取り止めとなったことから、本学が主催となり北千住で開催が予定される IDC ロボットコンテストに対して、「イベント協賛援助」として支援したい。

なお、例年実施している準会員への支援事業は次のとおりである。

- ①クラブ活動補助
- ②全学行事補助
- ③卒業式・入学式記念品補助
- ④卒論発表会・就職セミナー等支援
- ⑤準会員向け工学情報(KJ)発行
- ⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付
- ⑦イベント協賛援助

NHK ロボットコンテスト等メディアを介して学園の広報活動に繋がるようなイベントを支援する。

4. 公益法人としての活動と今後の課題

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に、会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として社会一般への教育、学術、文化発展に寄与することを目的とする公益法人である。

しかしながら、国の公益法人制度改革に伴う新法人への移行が余儀なくされ、平成25年11月30日までに移行手続きを完了しなければならない。

このため、公益法人制度改革に伴う移行に関する理事・監事を対象としたセミナー（勉強会）を開催し、共通認識の維持に着手したところであり、今後とも検討を深化する必要がある。

なお、現在の特例民法法人としての公益事業は次のとおりである。

- ①公開講演会の主催、共催、後援（地方会場での開催を含む）
- ②見学会の主催、共催、後援
- ③学園主催の公開講座（ME 講座、マセマティカ講座、ロボット製作講座等）の協賛
- ④大学院博士・修士論文発表会協賛
- ⑤その他事業への支援

5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の電機学校同窓会発足以来、いよいよ平成21年10月21日に創立100周年を迎える。その記念事業として以下の事業を実施する。

- (1) 校友会創立100周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会を平成21年10月17日（土）にホテルグランドパレスにおいて挙行する。
- (2) 記念誌（年史）およびリクルート情報誌ならびに工学情報創立100周年特集号を発行する。
- (3) 校友会創立100周年にあたり、新東京キャンパスでの準会員の環境充実を目的として校友会より学園に寄付を行う。
- (4) 工学情報の秋号を100周年記念特集号と位置付け、この号から工学情報をA4判化する。
- (5) 公益法人制度改革に伴う移行手続きの検討と推進ならびに一般会計と準会員事業基金会計の一本化への検討および新会計基準への移行を

推進する。
(6) その他新規事業の検討

6. 新東京キャンパス（仮称）創設への協力

学園は、長年の懸案であった神田キャンパス再整備計画を発展的に解決する方策として、足立区北千住への新キャンパス創設（「新東京キャンパス（仮称）」）を決定し、平成24年4月に新キャンパスを開設する。

学園における記念事業募金もその姿を変え、募金期間が延長されることから、今後とも、下記の事業を行うとともに、卒業生に課せられた寄付金の目標達成に協力する。

- (1) 新東京キャンパス（仮称）創設事業が遂行できるように、卒業生向けの募金活動を校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機協会長会等を通じ、引き続き積極的に協力要請を行う。
- (2) 学園創立100周年公開講演会（継続）への共催
昨年、学園主催による学園創立100周年公開講演会を仙台と福岡の2会場で開催し校友会はこれを共催した。学園では、平成21年度も同程度の開催を予定しており、校友会はこれに協力する。
また、公開講演会の開催に合わせて地方および県支部総会を開催することを働き掛け、卒業生に対し学園創立100周年記念募金活動への協力を要請する。

7. 学園との連携強化

- (1) 学生募集の支援
学園発展のために、学園の様々な活動に対して側面からバックアップする所存であるが、とりわけ学生募集の支援に力を入れたい。
学園が学部・学科を再編成し教育研究の特色化、個性化をはかり、新しい時代の社会的要請に応えようと努めているところであり、校友会としては、そのような現状を踏まえて、学園との更なる連携を図り、教職校友会ならびに地方支部への広報活動を通じ学生募集を支援する。
- (2) 経営同友会の運営への協力
経営同友会は学園と産業界で活躍されている校友の方々との間にネットワークを構築し、会員企業ならびに学園および校友の発展を目指すことを

目的に設立された組織である。

力する。

校友会では、学園と校友との連携の重要性を鑑みて、経営同友会の企画・運営するイベントに協

以上

(評議員会・総会共通 第4号議案)

平成21年度予算(案)

平成21年度一般会計収支予算書(案)

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 会費収入	67,500,000	77,000,000	△9,500,000
通常会員会費収入	10,000,000	14,000,000	△4,000,000
予納会員会費収入	57,500,000	63,000,000	△5,500,000
2. 運用財産収入	5,400,000	10,400,000	△5,000,000
受取利息配当金収入	400,000	400,000	0
預託金運用収入	5,000,000	10,000,000	△5,000,000
3. 寄付金収入	8,000,000	4,650,000	3,350,000
広告寄付金収入	7,400,000	4,000,000	3,400,000
その他収入	600,000	650,000	△50,000
4. 雑収入	10,560,000	510,000	10,050,000
見学・講演会収入	500,000	500,000	0
補助金収入	10,000,000	0	10,000,000
祝金・その他収入	60,000	10,000	50,000
5. 特定資産取崩収入	22,000,000	0	22,000,000
事業積立金特定資産取崩収入	10,000,000	0	10,000,000
校友会100周年積立金取崩収入	12,000,000	0	12,000,000
6. 準会員会計繰入収入	50,000,000	0	50,000,000
準会員会計繰入収入	50,000,000	0	50,000,000
当期収入合計	163,460,000	92,560,000	70,900,000
前期繰越収支差額	33,623,993	32,451,972	1,172,021
収入合計	197,083,993	125,011,972	72,072,021

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	110,924,000	67,105,000	43,819,000
会報発行費	44,080,000	28,460,000	15,620,000
名簿管理費	4,700,000	5,685,000	△985,000
Web情報発信サービス	3,630,000	2,680,000	950,000
支部援助費	19,250,000	15,500,000	3,750,000
その他事業費	24,900,000	3,500,000	21,400,000
同窓会援助費	14,364,000	11,280,000	3,084,000
2. 管理費	21,576,000	30,568,000	△8,992,000
給料手当	2,300,000	6,400,000	△4,100,000
委託費	5,900,000	9,500,000	△3,600,000
慶弔費	400,000	400,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
会議費	5,490,000	6,330,000	△840,000
通信運搬費	3,000,000	3,000,000	0
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	1,536,000	1,488,000	48,000
消耗品費	1,800,000	2,300,000	△500,000
雑費	800,000	800,000	0
3. 特定資産繰入支出	0	2,000,000	△2,000,000
校友会100周年積立金繰入支出	0	2,000,000	△2,000,000
4. 寄付金支出	50,000,000	0	50,000,000
東京千住キャンパス創設事業寄付金支出	50,000,000	0	50,000,000
5. 予備費	2,000,000	2,000,000	0
当期支出合計	184,500,000	101,673,000	82,827,000
当期収支差額	△21,040,000	△9,113,000	△11,927,000
次期繰越収支差額	12,583,993	23,338,972	△10,754,979
支出合計	197,083,993	125,011,972	72,072,021

学校預託金の内訳

(平成21年3月末日参照)

(単位:円)

	期首残高	増加	減少	期末残高
準会員会費学校預託金	127,482,400	68,000,000	66,000,000	129,482,400
正会員会費学校預託金	487,640,656	60,000,000	57,500,000	490,140,656

(第4号議案関連)

平成21年度準会員事業基金特別会計収支予算書(案)

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 運用財産収入	11,000,000	11,000,000	0
基金利息収入	1,000,000	1,000,000	0
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,000,000	0
3. 預託金繰入収入	4,000,000	6,000,000	△2,000,000
4. 特定資産取崩収入	50,000,000	0	50,000,000
5. 準会員預託金取崩収入	0	0	0
当期収入合計	69,000,000	21,000,000	48,000,000
前期繰越収支差額	13,271,540	19,698,569	△6,427,029
収入合計	82,271,540	40,698,569	41,572,971

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	15,950,000	15,800,000	150,000
クラブ活動補助費	4,350,000	4,350,000	0
全学行事補助費	4,500,000	4,350,000	150,000
卒入学記念品費	2,800,000	2,800,000	0
卒業生協会・就職セミナー等補助	300,000	300,000	0
工学情報分担金	2,000,000	2,000,000	0
イベント協賛援助費	2,000,000	2,000,000	0
2. 管理費	100,000	100,000	0
雑 費	100,000	100,000	0
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	5,500,000	0
4. 特定資産繰入支出	100,000	10,100,000	△10,000,000
5. 一般会計繰入支出	50,000,000	0	50,000,000
6. 予備費	1,400,000	1,400,000	0
当期支出合計	73,050,000	32,900,000	40,150,000
当期収支差額	△4,050,000	△11,900,000	7,850,000
次期繰越収支差額	9,221,540	7,798,569	1,422,971
支出合計	82,271,540	40,698,569	41,572,971

(評議員会・総会共通 第5号議案)

平成21・22年度評議員選出の件

別紙資料「平成21・22年度評議員候補者(案)」参照。

(評議員会 第6号議案)

理事・監事選出の件

【定款第13条第1項第一号理事】

- 候補者の推薦は、定款施行細則第3条の定めるところにより以下のとおり
 - ①同窓会並びに支部・電機会
 - ②理事会
- 推薦状況

		①同窓会 並びに電機会	②理事会	備考
推薦母体数		92件	1件	
回答数	総 数	46件	1件	理事10名, 監事1名
	候補者指名	10件	1件	
	理事会一任	46件	……	

- 第634回定例理事会(平成21年4月21日開催)決定事項
候補者は、監事改選については定数どおり1名

であるが、理事改選については定数を上回ったため、慎重審議の結果、評議員会には下記のとおり提案することを決定した。

評議員会における理事・監事の選出について

- ①候補者各位の心情を配慮し、氏名は公表せず人数のみとする。
- ②理事・監事選考委員会を設置し、当委員会に選考を委ね、その結果を評議員会に報告し承認を得る。
- ③理事・監事選考委員会の構成は、次のとおりとする。
各校(大学・短大、中学・高等学校、電機学校)卒業生より各々2名、並びに評議員会議長、理事長、常務理事の合計9名とする。
- ④各校卒業者の選考委員は事前に同窓会を通じて選出を依頼し、評議員会において承認を得る。

特別会員から選出される理事（役職理事）の推薦について

1. 第634回定例理事会（平成21年4月21日開催）
において推薦された理事

【定款第13条第1項第二号理事】

見山 秀晴（学生支援センター長）

会務報告（概要）

1. 定例理事会

（議事録：「工学情報」に順次掲載済）

○第626回 平成20年4月22日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 平成19年度事業報告の承認について

議題3. 平成19年度決算の承認並びに監査報告について

議題4. 第118回評議員会・第63回総会について

議題5. 平成20年度理事・監事候補者の推薦及び就任日について

議題6. 年史編纂小委員会 委員長の委嘱について

報告1. 高久廣毅常務理事の処遇について

○第627回 平成20年5月24日（土）

議題1. 正・副理事長の選出について

議題2. 各委員会委員長並びに委員の選任について

○第628回 平成20年6月17日（火）

議題1. 前々回・前回議事録の承認

議題2. 平成20年度事業計画の実行担当について

議題3. 校友会イベント協賛申請について

議題4. 年史編纂に関わる業務委託契約について

議題5. 卒業生バックアップセンターの協賛金等について

報告1. 平成19年度卒業生懇親会アンケート調査報告

○第629回 平成20年7月22日（火）

議題1. 前々回・前回議事録の承認

議題2. 全国支部長会の開催について

議題3. 参与の委嘱について

議題4. 工学情報「校友会創立100周年記念特集号」（仮称）への名刺広告募集について

報告1. 校友会イベント協賛申請について

報告2. 平成20年度学術振興基金予算と県支部総会用記念品について

報告3. 卒業生バックアップセンターの在學生と教職員への開放について

○第630回 平成20年10月7日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 全国支部長会の対応（議事要旨）について

議題3. 参与会の開催について

○第631回 平成20年11月4日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 平成20年度上半期収支決算および監査について

議題3. 参与会の対応（議事要旨）について

議題4. 「卒業生バックアップセンター」運用に係るバナー広告の協賛について

議題5. 奨学金の回収に係るサービサーの導入について

議題6. 年末役員懇談会について

議題7. 職域電機会長会の実施について

○第632回 平成20年12月2日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 校友会年間会議スケジュールについて

議題3. 「卒業生バックアップセンター」運用に係るバナー広告の協賛について（再）

議題4. 事業計画立案依頼について

議題5. 新菱冷熱工業電機設立の承認について

○臨時理事会 平成21年2月20日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 校友会年間会議スケジュールの一部変更について

議題3. 式典・祝賀会次第（変更案）について

議題4. 創立100周年記念事業予算概要について

報告1. 三役連絡会報告

報告2. 新東京キャンパス（仮称）建設について
のお願い

○第633回 平成21年3月3日（火）

議題1. 前回議事録の承認

議題2. 平成21年度事業計画（案）

議題3. 平成21年度予算（案）

議題4. 第119回評議員会・第64回総会次第（案）

議題5. 工学情報校友会創立100周年特集号の名称について

報告1. クレジット決済による校友会会費の納入
(プレゼンテーション)

報告2. 校友会予算執行状況(10年間)

2. 評議員会・総会(議事録:「工学情報」に掲載)

第118回 評議員会 平成20年5月24日(土)

第63回 総 会 平成20年5月24日(土)

3. 各委員会(省略)

各校卒業生(住所判明者)並びに校友会員数

(平成21年3月31日現在)

	電機学校	中学・高校	大学院・大学・短大	合計
住所判明者	4,901	11,268	62,698	78,867
会 員 数	955	2,438	26,694	30,087

(備考) 会員数=会員台帳による数。最終卒業をもって正会員登録。

地 方 別 内 訳

(平成21年3月31日現在)

県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数
北海道	479	171	福 井 県	106	46	山 口 県	153	57
青 森 県	190	88	山 梨 県	750	304	徳 島 県	124	39
岩 手 県	240	86	長 野 県	1,462	504	香 川 県	152	62
宮 城 県	420	178	岐 阜 県	251	69	愛 媛 県	142	57
秋 田 県	219	81	静 岡 県	2,118	751	高 知 県	124	57
山 形 県	240	108	愛 知 県	824	272	福 岡 県	340	140
福 島 県	618	287	三 重 県	256	99	佐 賀 県	69	22
茨 城 県	2,628	1,147	滋 賀 県	85	31	長 崎 県	122	43
栃 木 県	1,549	671	京 都 府	118	47	熊 本 県	112	39
群 馬 県	1,564	678	大 阪 府	274	104	大 分 県	134	68
埼 玉 県	16,489	6,786	兵 庫 県	322	103	宮 崎 県	114	37
千 葉 県	9,455	3,808	奈 良 県	69	20	鹿 児 島 県	137	46
東 京 都	23,729	8,868	和 歌 山 県	65	14	沖 縄 県	137	53
神 奈 川 県	9,849	3,169	鳥 取 県	52	21	そ の 他	128	17
新 潟 県	919	333	鳥 根 県	55	22			
富 山 県	693	205	岡 山 県	156	43	合 計	78,867	30,087
石 川 県	282	91	広 島 県	353	145			

平成20年度開催 総会・クラス会

開催日	名 称	開催日	名 称
20. 4. 5	高校 S29 定時制電気科電気機器課程卒クラス会	10. 25	沖縄県支部総会
12	電機学校同窓会総会	〃	大学 S46 工学部第一部電気工学科卒クラス会
〃	大学 S39 工学部第一部電子工学科卒クラス会	〃	大学 S47 工学部第一部電気工学科卒クラス会
16	高校 S35 全日制電気科電気計測課程卒クラス会	26	大学 S30 工学部第一部電気工学科、電気通信工学科卒合同クラス会
19	商工懇話会春季総会	27	工専 S26 電気科卒クラス会
〃	大学 S43 工学部第一部機械工学科卒クラス会	11. 1	岩手県支部総会
〃	大学 S52 工学部第二部電気通信工学科卒クラス会	〃	大学 理工学部電子情報工学科卒縦の会 (APPLES)
〃	高校 S32 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	〃	大学 理工学部建設工学科・建設環境工学科卒縦の会 (鳩草会)
20	富山県支部総会	2	福島県支部総会
26	大学同窓会総会	8	新潟県中央電機会総会
5. 10	中学・高等学校同窓会総会	〃	愛知県支部総会
〃	高校 S34 全日制電気科電力課程2組卒クラス会	9	福岡県支部総会
18	高校 S27 定時制電気科電力課程B組、電気機器課程C組卒合同クラス会	〃	二工 S24 第一本科電気科3組卒クラス会
23	東光電気工事電機会総会	14	高校 S31 全日制電気科電気計測課程卒クラス会
24	校友会第118回評議員会・第63回総会	15	香川県支部総会
〃	高校 H3 全日制電子科1組卒クラス会	〃	長崎県支部総会
26	大学 S34 工学部第一部電気工学科卒クラス会	〃	高校 S36 全日制普通科1組卒クラス会
30	高校 S29 全日制電気科電気計測課程卒クラス会	〃	短大 S33 電気科第二部卒クラス会
31	山形県支部総会	〃	高校 S38 全日制電気科電気計測課程卒クラス会
〃	埼玉県支部総会	16	高校 S44 全日制機械科卒クラス会
〃	高校 S26 定時制電気科電力課程2組卒クラス会	20	民間放送校友会総会
6. 1	高校 S27 全日制電気科電力課程3組卒クラス会	22	長野県支部・山梨県支部合同総会
2	大学 S31 工学部第一部電気工学科卒クラス会	〃	鹿児島県支部総会
4	東管神奈川電機会総会	〃	高校 S37 定時制電気科電力課程卒クラス会
5	関電工電機会総会	〃	高校 S35 全日制電気科電力課程2組卒クラス会
〃	神奈川県支部総会	23	錦糸電機会総会
〃	三重県支部総会	26	東管支部東京北電機会総会
〃	短大卒業生の会 (縦の会) 総会	〃	短大 S28 電気科第二部卒クラス会
14	千葉県支部総会	28	川北電気工業電機会総会
〃	工学部建築学科縦の会 (ABU の会)	29	大学 S43 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
〃	一工 S23 第一本科電気科卒クラス会	〃	大学 S33 工学部第一部電気工学科、電気通信工学科、工学部第二部電気工学科卒合同クラス会
15	岐阜県支部総会	〃	大学 S38 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科・電子工学科卒合同クラス会
20	日本電波工業電機会総会	〃	一工 S20 第二本科電気科卒クラス会
21	教職校友会総会	12. 4	東管支部東西南電機会総会
21	教職校友会東京支部総会	〃	電機学校 S22 3月昼間部電気科本科卒クラス会
21	教職校友会埼玉支部総会	6	山陰支部総会
28	東管支部総会	8	高校 S41 定時制電気科電力課程1組卒クラス会
7. 5	大学 S46 工学部第一部精密機械工学科卒クラス会	13	宮崎県支部総会
7	東管支部東西南電機会総会	14	高校 H15 全日制普通科8組卒クラス会
12	教職校友会神奈川支部総会	18	東洋熱工業電機会総会
〃	茨城県支部総会	20	大学 S41 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
18	大学 S56 理工学部建設工学科卒クラス会	22	大学 S40 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
26	工専 S25 電気科卒、大学 S27工学部第一部電気工学科卒合同クラス会	27	東管支部千葉電機会総会
8. 2	青森県支部総会	21. 1. 17	電磁電機会総会
23	新潟電機会総会	24	愛媛県支部総会
9. 5	高校 S26 全日制電気科電力課程1組卒クラス会	〃	高校 S39 全日制普通科2組卒クラス会
6	高校 S35 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	〃	大学 S38 工学部第二部電気工学科、S35 短期大学電気科第二部卒合同クラス会
12	大成建設電機会総会	2. 1	高校 S42 全日制電子科2組卒クラス会
24	大学 S32 工学部第一部電気工学科卒クラス会	7	高校 S34 全日制電気科電力課程1組卒クラス会
10. 3	商工懇話会秋季総会	20	大学 S42 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
4	大学 S40 工学部第一部電子工学科卒クラス会	26	新菱冷熱工業電機会総会
5	宮城県支部総会	〃	大学 S31 工学部第二部電気工学科卒クラス会
12	群馬県支部総会	27	大学 S50 工学部第一部建築学科卒クラス会
16	高校 S26 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	3. 7	三菱電機会総会
〃	工専 S24 電気科卒クラス会	13	東管支部東西電機会総会
17	大学 S42 工学部第一部機械工学科卒クラス会	14	山陽支部総会
〃	二工 S24 第一本科電気科卒クラス会	23	高校 H20 全日制普通科12組卒クラス会
18	佐賀県支部総会	29	大学 S36 工学部第二部電気工学科卒クラス会
〃	大学 S35 工学部第一部電気工学科、電気通信工学科卒合同クラス会	〃	中学 H12 普通科A組、B組、C組卒合同クラス会
19	高校 S42 全日制電気科2組卒クラス会		
24	大学 S43 工学部第二部電気工学科卒クラス会		